

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 子供SOS24電話相談事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校安全課 教育相談係 電話番号：058-271-3328 (直通)

E-mail：c17770@pref.gifu.lg.jp 部

1 事業費 4,261 千円 (前年度予算額：4,268 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,268	1,346	0	0	0	0	0	0	2,922
要求額	4,261	1,344	0	0	0	0	0	0	2,917
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動については、大きな社会問題となっており、学校内の相談体制の充実を図る一方で、学校外においてもいつでも児童生徒や保護者の悩みを受け止める相談窓口を整備しておく必要がある。
- ・子供SOS24電話相談に夜間・休日・祝日も含め24時間体制で対応するため、電話相談員を設置し、相談者の気持ちを受け止めて、悩み等の軽減や解決を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・夜間・休日・祝日の子供SOS24電話相談員として、児童生徒の悩み等を聞くことに精通した教員OB等を7名配置し、輪番制で対応する。
- ・夜間等の相談は、既設の相談電話から専用の携帯電話に転送する方法により受理する。
- ・事業周知のために電話相談広報カードを作成し県内全児童生徒に配布する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 2 / 3 負担、国 1 / 3 補助
- ・ 県民のニーズに応じ、広く県民の相談に応じていくことは重要であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	3,409	謝金（子供 SOS 24 時間相談員 8 名分）
需用費	185	印刷製本費（電話相談広報カード）
役務費	667	通信費（電話料金、携帯電話基本料金）
合計	4,261	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第 3 次岐阜県教育ビジョン
基本方針 2 多様な学びを支援する教育体制の充実
目標 10 いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底

(2) 国・他県の状況

- ・ 文部科学省では、「いじめ対策等総合推進事業」の中で「24 時間子供 SOS ダイアル」を概算要求（補助率 1 / 3）

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 24時間、電話相談に対応できるように、平日昼間から夜間・休日・祝日にも拡充した相談体制を、いじめ等に悩み苦しむ児童生徒やその保護者に寄り添い支援するために、維持、継続する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						%
① 電話相談対応件数	—	1,213	1,500	1,500	1,500	80.9%
						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>夜間・休日・祝日の子供SOS24電話相談員として、児童生徒の悩み等を聞くことに精通した教員OB等で対応した。</p> <p>事業周知のために電話相談広報カードを作成し、県内全児童生徒に配布した。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	いじめ等が社会問題化しており、24時間の電話相談体制の充実 は必要性が高くなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	いじめ等緊急的な対応が必要な場合のセーフティネットとして2 4時間の電話相談体制はとても有効である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	適切な事業の実施により、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「子供 SOS24 電話相談」が児童生徒にとって一層身近なものとなるよう、不安や悩みがある時は、信頼できる相談相手の一つとして「子供 SOS24 電話相談」等を利用するとよいことを広報カードの配布を通して周知する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 24時間の電話相談体制を維持、継続し、いじめ等に悩み苦しむ児童生徒やその保護者に寄り添い支援をしていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------